

敦賀発電所1号機 アスファルト固化設備
水噴霧消火ポンプケーシング部のき裂について

敦賀発電所1号機（廃止措置中）において、2024年11月21日16時05分頃、新廃棄物処理建屋1階（管理区域）にて、アスファルト固化設備の消火設備の点検のため水噴霧消火ポンプ（以下、「当該ポンプ」という。）を運転していたところ、当該ポンプからろ過水※1約400リットルが飛散しました。このため、当該ポンプを停止するとともに出入口弁を閉止したことにより、16時11分頃、ろ過水の飛散は停止しました。

当該ポンプを点検した結果、ケーシング※2部にき裂を確認しました。
なお、飛散したろ過水に放射性物質は含まれておらず、本事象による周辺環境への影響はありません。
また、事象発生時に当該ポンプ付近にいた当社社員1名および協力会社社員2名が被水しましたが、測定の結果、汚染はありませんでした。

今後、ケーシング部にき裂が発生した原因を調査してまいります。

※1 河川から取水した水をろ過装置によりろ過した水。
※2 ポンプ外殻のことで中に羽根車が納まる。

